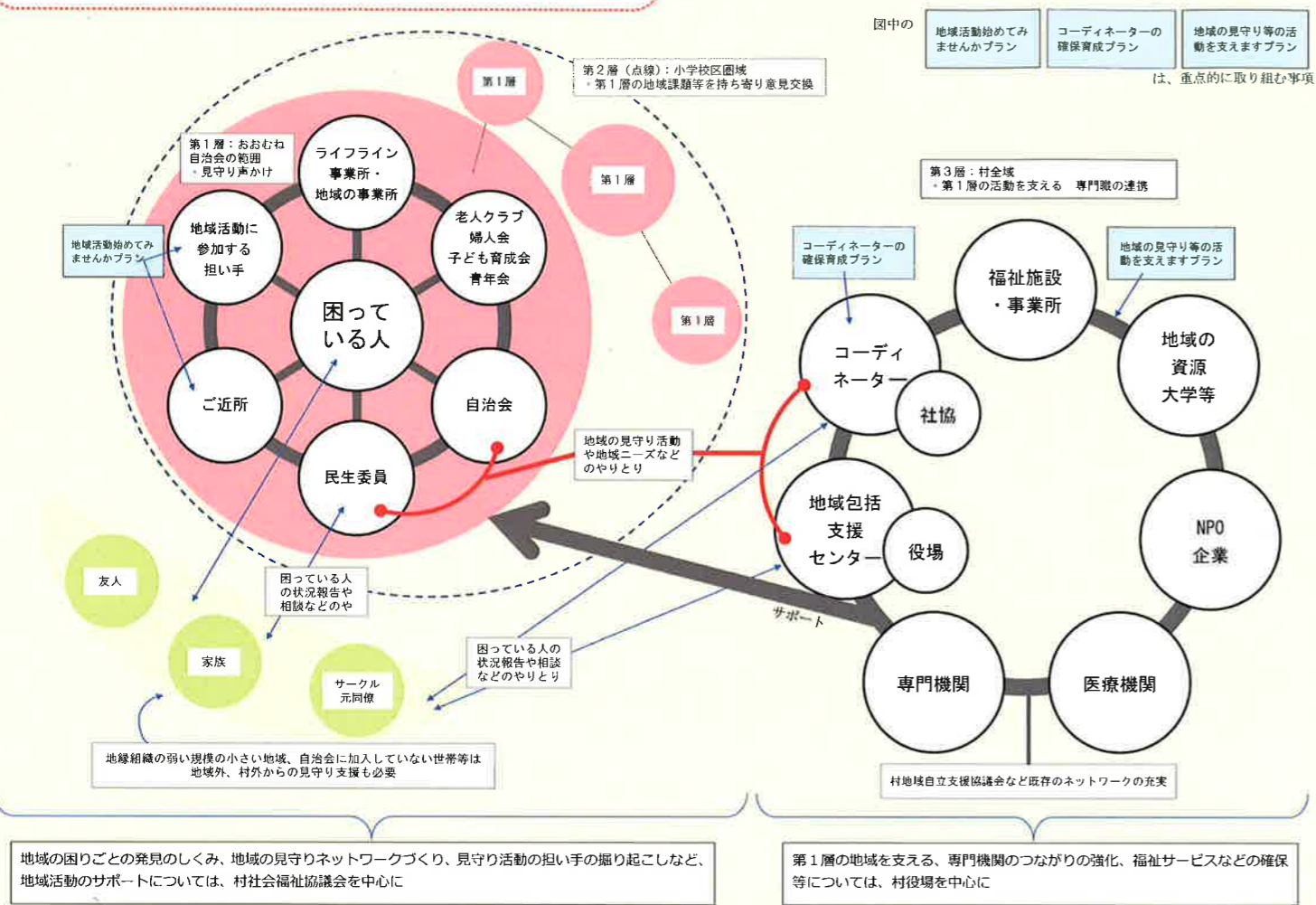


中城村の見守り・支え合いネットワーク図 (イメージ図)



中城村地域福祉推進計画

とよむ 福祉プラン

計画期間：平成 29 年度～平成 33 年度

手を取り互いを思いやる やさしい村 とよむ中城



重点的に取り組む事項 (横断的に進め、見守りネットワークの強化や地域活動の活性化につながるきっかけとします)

- 1 **プラン1. 地域活動はじめてみませんかプラン**
 - 村民アンケート調査では福祉に関心があり、今後地域活動に参加してみたいと考えている村民も半数はいることから、その方々を地域活動へつなげる取り組みが必要です。介護や子育て、仕事の間でも活動できるような短時間の参加など、ゆるやかな参加方法を検討します。さらに地域活動への参加を促進したり、例えば防災などの関心のあるテーマ（避難訓練など）で参加型・体験型の取り組みを実施しながら、関心の高い方々を地域活動に巻きこんでいきます。
 - そのため、地域のさまざまなことを広く発信し、活動を実践する人材の育成・確保を図ります。
- 2 **プラン2. コーディネーターの確保育成プラン**
 - 地域の高齢者や困りごとを把握し、地域や関係者と見守りながら困りごとを解決するために、地域の共助、公助を組み合わせたり、専門機関との連携、地域人材や資源の掘り起こしなどを行うコーディネーターを確保していきます。
 - コーディネーター配置後は、地域での行事や取り組み等に参加・交流しながら地域の特性やニーズをきめ細かく把握していきます。地域との信頼関係を築くことができるよう、地域の保健福祉人材（民生委員児童委員等）や自治会等との連携を深めます。ニーズに応じて、高齢者の在宅生活支援や介護予防事業、地域主体の事業や地域の福祉活動を行います。コーディネーターの育成については、村や社会福祉協議会、関係機関との連携のもと、実践を通して進めていきます。
- 3 **プラン3. 地域の見守り等の活動を支えますプラン**
 - 地域だけでは対応しきれない複雑な問題等については、専門機関やプラン2で掘り起こされた資源等、さまざまな組織が連携しながら解決をめざすとともに、地域活動をサポートしていきます。地域活動を支えるつながりの強化については、コーディネーターと連携しながら進めます。
 - これから見守り活動をはじめたい地域や地域活動等を活性化したいと考えている地域等に対し、それぞれの専門分野からのアドバイスや支援を行います。
 - だれもが安心して地域で暮らし続けるため、住まい、医療、介護、予防、生活支援サービスを一体的に提供することや、地域課題をみんなで解決することを話し合う場を定期開催し、情報交換をしながら、そのつながりによる地域支援を進めます。話し合いの場は既存の地域自立支援協議会等の協議体を基盤とし、専門機関のネットワークの強化については行政、地域包括支援センターが中心となって行います。

地域福祉とは
 地域福祉とは、私たちの暮らす「地域」を基盤にして、日々の生活の中で様々な困りごとを抱えている人の問題を制度によるサービスだけでなく、人と人とのつながりや地域の助けあいにより、解決にむけて取り組むことです。
 したがって、地域福祉は地域に住むすべての住民が対象となります。

平成 29 年 3 月
 沖縄県 中城村
 社会福祉法人 中城村社会福祉協議会

※このパンフレットは「中城村地域福祉推進計画」の概要版です。計画書より一部抜粋、編集しています。



基本理念

手を取り互いを思いやる やさしい村 とよむ中城

すべての村民が互いを尊重し、時にはだれかを助けたり、助けられたりしながら自分らしい生活を営むことのできる社会をめざしていきます。

加えて、良質かつ適切な福祉サービスを確保するとともに、地域で人と人がつながる支え合いのしくみづくりを強化し、福祉による地域づくりに取り組みます。

そこで中城村と中城村社会福祉協議会は、公的なサービスと地域の多様な活力・資源を育み、結びつけ、互いに補完しながら「手を取り互いを思いやる やさしい村 とよむ中城」をめざします。



「とよむ」とは・・・ ←中城村第四次総合計画より
「鳴り響く」の意味。中城村は、豊かな土地と景観に恵まれ、古くは貝塚時代（約 3,500 年前）から人が住みついていたことが知られている。琉球王朝時代の中城間切には、護佐丸や中城城などの歴史を彩る人物や史跡が登場し、琉歌にも「とよむ中城 吉の浦のお月 みかげ 照りわたて さびやねさみ（世に名高い中城城から吉の浦を眺めると月が美しく照りわたり、なんと平和なことか、とても災いなどあるはずがない）」とうたわれている。「とよむ」という言葉は、中城においては、この琉歌に由来して、文化・生活すべての面で活気があり、世に響き渡る理想的な村の姿を表す端的な言葉であると考えられる。この「とよむ」を、歴史ある中城村の枕詞として捉え、以前から広報や村内の行事などで常々使用し、村内外への浸透を図ってきた。

基本目標 1

地域に関心を持ち、地域活動に参加してみよう

行動目標 1

地域への関心と福祉への理解を高めていこう

◇村民や地域のみなさんは、こんなことから取り組んでみましょう

- 福祉に関連する講座やイベントに参加してみましょう
- 村や社会福祉協議会の広報誌を読んでみましょう
- 地域において、認知症や障がいなどの正しい知識を深めるための勉強会などを開催しましょう
- 地域行事に高齢者や子どもたちなどいろいろな人が交流できる機会をつくりましょう
- 小・中学校に自治会だよりを貼ってもらい、子どもたちに地域活動を知らせましょう

◆村や社会福祉協議会の取り組み

- (1) あらゆる世代への福祉教育の充実
 - ①児童・生徒が体験などを通じて学ぶ環境づくり
 - ②地域における福祉教育の充実
- (2) 広報・啓発活動の充実
 - ①各種媒体による広報・啓発
 - ②「福祉まつり」などの取り組みによる啓発

行動目標 2

地域福祉の担い手を育成し地域活動を活性化しよう

◇村民や地域のみなさんは、こんなことから取り組んでみましょう

- 自治会などでは、地域活動などの情報を発信し、参加を呼びかけましょう
- 地域にどのような人が住んでいるのか、新しく転入された方が顔をあわせる交流の機会をつくり、人材を発掘していきましょう

◆村や社会福祉協議会の取り組み

- (1) 地域福祉を支える人材の育成・確保
 - ①活動のきっかけづくり
 - ②地域活動のリーダーや担い手等の育成確保
- (2) 地域活動やボランティア活動の拠点機能の充実
 - ①地域活動への支援
 - ②ボランティアセンターの機能の充実



基本目標 2

地域でつながる「しくみ」・「サービス」をつくろう

行動目標 1

地域福祉のネットワークをひろげよう

◇村民や地域のみなさんは、こんなことから取り組んでみましょう

- 散歩の時など、ご近所さんとあいさつをしてみましょう
- 地域では、住民や地域の事業所に声かけをして地域活動のサポーター（協力者）を確保していきましょう
- 地域で見守りが必要な人の見守りについて、コーディネーターに相談しながら進めてみましょう

◆村や社会福祉協議会の取り組み

- (1) 地域での交流からつながる支え合いの促進
 - ①地区ふれあい事業等の充実
- (2) 支援を必要としている村民の把握や見守りネットワークの構築
 - ①生活支援コーディネーターの育成・確保
 - ②地域の見守りネットワークづくりと専門機関の連携による支援
 - ③「支え合いマップ」の充実
 - ④各種協議会の充実と連携強化

行動目標 2

安心して利用できる福祉サービスを提供しよう

◇村民や地域のみなさんは、こんなことから取り組んでみましょう

- 困りごとを相談できる相談先をみつけておきましょう
- チラシなど作成する場合は、いろいろな人が読むことを想定して作成しましょう
- 公民館等を子どもの居場所として活用しましょう

◆村や社会福祉協議会の取り組み

- (1) 各種サービスの適切な利用の促進
 - ①相談支援体制の充実
 - ②情報提供の工夫
- (2) 権利擁護の推進と虐待防止
 - ①成年後見制度等の推進
 - ②福祉サービス利用援助事業の充実
 - ③虐待防止・早期対応のための支援体制の強化
- (3) 生活困窮対策の推進
 - ①生活困窮者の把握と相談窓口の周知
 - ②生活困窮者に対する生活支援の推進
- (4) 子どもの貧困対策事業の推進
 - ①子どもの居場所づくりや無料塾等の取り組みの推進
 - ②就学援助制度の推進

行動目標 3

地域でのふれあい拠点を活性化しよう

◇村民や地域のみなさんは、こんなことから取り組んでみましょう

- 地域の公民館等で行われる行事や活動に参加しましょう
- 自治会の加入を促進しましょう

◆村や社会福祉協議会の取り組み

- (1) 地域の活性化促進
 - ①公民館の活用促進
 - ②地域資源を活用した活性化の促進
- (2) 地域福祉の拠点機能の充実
 - ①地域福祉の拠点機能の充実

基本目標 3

みんなで「安全・安心」な地域をつくろう

行動目標 1

いざという時のために準備をしよう

◇村民や地域のみなさんは、こんなことから取り組んでみましょう

- 日頃から、近隣の人たちとあいさつをかわすなど、交流を深めましょう
- 防災訓練などに積極的に参加しましょう
- 地域では、危険な箇所を把握しておくとともに、防災訓練を行いましょう
- 自主防災組織の立ち上げについて、検討していきましょう
- 時間を決め、各家庭で家の門灯をつけることを検討しましょう

◆村や社会福祉協議会の取り組み

- (1) 要援護者等の支援体制の充実
 - ①要援護者の状況把握
 - ②防災に関する知識の普及と日頃からの準備
- (2) 地域で取り組む安全対策の充実
 - ①防犯に関する意識啓発と地域で取り組む防犯対策
 - ②交通安全対策の推進

行動目標 2

人にやさしいまちづくりを進めよう

◇村民や地域のみなさんは、こんなことから取り組んでみましょう

- 点字ブロックなどの上に車を止めたり、障害となるものを置かないようにしましょう
- 護国丸バスを積極的に利用しましょう
- 行事をする際は、だれもが来場しやすいように工夫しましょう

◆村や社会福祉協議会の取り組み

- (1) バリアフリー、ユニバーサルデザイン等に関する普及
 - ①ユニバーサルデザインの考え等の普及
 - ②公共施設等のバリアフリー化とユニバーサルデザインによる整備
- (2) 外出しやすい環境づくり
 - ①外出・移動支援の充実



お問い合わせ

中城村 福祉課
〒901-2493 沖縄県中頭郡中城村字当間 176 番地
電話：098-895-1738

社会福祉法人 中城村社会福祉協議会
〒901-2404 沖縄県中頭郡中城村字添石 236 番地
電話：098-895-4081